

日本学校農業クラブ連盟 全国大会実施基準改定に向けたアンケート（クラブ員代表者会議）

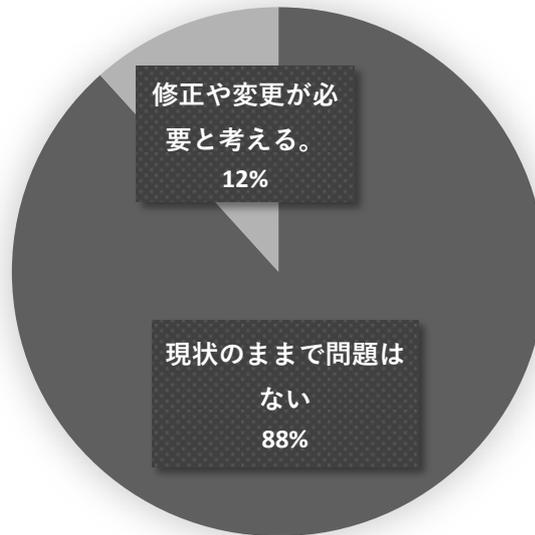
実施期間：2020年8月31日～10月1日実施

実施対象：日本学校農業クラブ連盟加盟校

回答数：223校/380校

1. クラブ員代表者会議の実施基準と実施方法、参加人数について

クラブ員代表者会議の実施基準等について



《修正や変更が必要と考える》

○このアンケート項目にない事項として

1 令和元年度 第10号議案全国大会実施基準等改訂スケジュールについて

プロ・意見発表について、R3新分野について確定（議決）とR4新基準について提案ということは新分野、新基準での実施はいつからになるのか。プロ・意見発表について、R4「新基準」は審査基準のことと捉えて良いか。

2 令和2年度 第10号議案全国大会実施基準改訂・方向性等について ・今年度の春季代議員会の議案書が送られてきましたが、審議や議決はいつ、どのように行っていくのかについて、日連に確認してほしい。（このまま、なし崩し的に議決されたかのように進められるのはおかしい）（北北海道）。

○大会を実施し、順位を決めて出場校を決めているブロックもある。プロジェクト発表や意見発表とは異なる趣旨の分野なので、可能な限り、多くの学校に発表のチャンスを与えるような工夫が欲しい（秋田県）。

○統合や学級減等に伴い開催県の運営がかなり困難になってきている。実施方法など見直しの時期に来ていると考える（秋田県）。

○Society5.0に対応した競技・種目に新たに変化（変革）しないといけないと感じる（福島県）。

○ここ何年か、県内でも代表者会議に参加していない学校も出てきている。理由としては、生徒1人に対し職員1人について出張となり少人数の学校では職員が出張してしまうと学校運営がかなり厳しいという意見がある。今後は、zoomなどのweb会議に置き換えるのも良いのではないかもしれない（群馬県）。

○全国のクラブ員と交流することができるのは、いいことだと思いますが、縮小等を検討する必要性もあると思います（群馬県）。

○クラブ員代表者会議に参加しても単位クラブ員に伝えきれていない。話し合いの内容を単位クラブに下ろせるよう内容を検討していただきたい（神奈川県）。

○生徒・教員の減少に伴い、個々の負担が大きくなってきているため、参加者の数を、都道府県で1名ないし2名といたっ少ない人数への変更を検討していただきたい（山梨県）。

○参加人数の減少傾向により、根本的見直しが必要ではないか（静岡県）。

○1人だと学校に帰ってから、モチベーションの維持が難しい。できれば数人で行き、そのモチベーションを維持していきたい（静岡県）。

- 多くのクラブ員が集まることの意義はあるが、クラブ員が年々減少している中、運営するブロック・県連盟の負担が大きい。競技だけの全国大会で良いと考える（新潟県）。
- web 会議でできる限り行う（新潟県）。
- すべての競技・発表等にも言えることであるが、コロナ対策をどのようにしていくのか検討が必要だと考えます（長野県）。
- 交流や情報交換の大切な機会であるが、少し見直しをしてやり方を変えることも時には必要だと考える（富山県）。
- 生徒及び教員や担当者に関する感染対策、場所や人数の制限等の配慮をお願いします。新しい方法を考える必要があると思います。主席や意見の集約の方法を考える必要があると考えます（大阪府）。
- 各都道府県連盟の役員が参加するようにしてもよいのではないのでしょうか（兵庫県）。
- 全員集まる必要性が弱い。リモートを使用するなど考えられる（岡山県）。
- 支障がなければ、オンラインで実施してもよいのではなかとと思います（愛媛県）。
- この問いについての資料は何を見ればいいのか（佐賀県）。
- 期間中の感染症拡大対策の準備が大変になる。期間中の発熱などの症状が発生した場合の対応が困難になる（診察・入院）。参加者をブロック代表のみにしてはどうか（大分県）。
- 現在の社会情勢に合わせた内容にするべきだと強く感じます（大分県）。
- 〔テーマ〕については、生徒や学校の実情を踏まえたもの、議論しやすいものにして欲しい。中にはテーマが難しく、意見が出しにくいもの、意見しにくいものもある様に感じる。また、運営担当校が運営・進行に苦慮する場面もある（鹿児島県）。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた実施基準や運営が必要だと思います（鹿児島県）。